

みんなの避難所

～障害のある人に理解・配慮を！～



枚方市内には、心身に障害や病気があるため、日常生活の上で何らかの制限をうける人たちが約2万人います。こうした中には、災害が起きたとき、自力で避難することが難しかったり、避難先での生活に何らかの支援や配慮の必要な人がいます。

災害時の混乱した状況で障害のある人が安全に避難し、尊い命を守るためには、障害のある人の身に起こるであろう様々な困難や対処方法について、地域のみなさんに知ってもらい、協力していただくことが必要です。障害のあるなしにかかわらず、地域の一員として共に暮らしていくために、みなさんのご理解とご配慮をよろしくお願いします。



障害のある人に・・・

困ったことがあっても伝えることが得意ではない人が多くいます。

障害のある人を見かけたら声をかけて、困りごとがないかどうか聞いてください。

子ども扱いはしないで、その人その人の年齢にふさわしい態度で接してください。



情報が不足すると、不安が募ることになるので、災害の情報や避難所内の物資の配布場所や配布方法の連絡など、情報は確実に伝えましょう。

聴覚障害や内部障害、精神障害など、外見ではわからない障害があることを理解しましょう。

障害の状況に応じた支援を お願いします

障害のある人は、障害の内容や状況によって様々で、複数の障害がある人もいます。必要な支援も障害の特性や場面によって様々です。

視覚に障害のある人



全く目の見えない人（全盲）、視野が狭い人（視野狭窄）、視力が弱い人（弱視）等です。支援が必要な人は白杖をお持ちのことが多いです。周囲の状況が把握しにくく、文字等による情報を得る事や移動時に支援が必要です。

●支援のポイント

「声かけ」をしてください。周囲の状況を伝えてください。掲示や配布されたものがあればその内容を伝えてください。

移動には「誘導」が必要な人もいますので、ご本人に確認しながら行ってください。

聴覚に障害のある人



聴覚（聞こえ）に障害がある人、もともと聞こえない人、病気で聞こえなくなった人、加齢等により聞こえなくなった人等です。声を出せる人もいますが、自分から伝える事ができない人もいます。

●支援のポイント

呼びかけに反応しない人がいれば確認をしてください。音声での情報が伝わらないので、内容を伝えてください。

コミュニケーションの方法は手話だけでなく、筆談（手書きや携帯電話画面）や口の動きを読む等様々な方法があります。

肢体不自由の人



肢体不自由者とは四肢（手や足）や体幹（胴体）等に障害がある人のことです。片側のマヒの場合や、全身の運動や動作が不自由な人もいます。全身性の障害では、姿勢の保持が困難な人もいます。

●支援のポイント

トイレの段差や手すりの確認、車イスの移動は通路の確保が必要です。

マヒにより会話が聞き取りにくい人もいますので、その場合は聞き直してください。

内部障害のある人・難病の人



内部障害とは心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、肝臓機能障害、HIVによる免疫機能障害の7つです。

難病とは発病の原因が明らかではなく治療法が確立していない疾病です。

●支援のポイント

携帯用酸素ボンベ、ペースメーカー、人工呼吸器等の医療機器や人工肛門等の医療装具を使用している場合があります、個々の障害や疾病にあわせた支援が必要です。

また、環境変化により体調悪化を起こしやすい人もいますので、配慮が必要です。

精神障害のある人



精神疾患の症状は様々ですが、中にはストレスに弱く精神的に疲れやすい傾向の人がいます。

集中力が低下したり無気力になったりと、生活のしづらさがある人もいます。

●支援のポイント

無理な励ましは本人の過剰なストレスになることがあります。

多くの人は普段は服薬により安定していますが、服用の中断やストレスにより不安定な状況になることがあります、本人の気持ちを大切に本人のペースにあわせた支援が必要です。

知的障害のある人・発達障害のある人



複雑な文章や抽象的なことを理解すること、相手の意図を読み取ることや、自分の考えや気持ちを表現すること等が得意ではありません。

また、特に変化や見通しの立たないことへの理解は難しく、いつもと違う状況に不安や抵抗があります。

ひとつの行動に固執したり、同じ質問を何度もする人もいます。

●支援のポイント

話しかける時は、優しく、短く、わかりやすく伝えます。

一度にたくさんの指示があると混乱するので、ひとつずつ絵や写真、メモを見せるなどして伝えます。

先の見通しが持ちやすいように今後の予定等を具体的に伝えます。

枚方市では「ヘルプカード」を配布しています。

「ヘルプカード」は障害のある人が緊急時や災害時、困ったときに必要な支援を伝えることができるカードです。



相談窓口として障害者相談支援センターをご活用ください。

パーソナルサポート ひらかた	枚方市中宮山戸町10-12-105 TEL : 848-8825 FAX : 848-7920	基幹 相談支援 センター
地域支援センター ゆい	枚方市上島東町14-1 上島御浜ビル2階 TEL : 894-7470 FAX : 894-7471	
相談支援センター 陽だまり	枚方市交北2-7-15 TEL : 809-0015 FAX : 809-0015	
障害者相談支援センター わらしべ	枚方市長尾谷町1-101-1 TEL : 868-1301 FAX : 868-3305	身・知・精・難
地域生活支援センター にじ	枚方市伊加賀西町52-12 TEL : 090-8216-4911 FAX : 845-1451	身・知・精・難
クロスロード	枚方市川原町9-4 第2浜田ビル2階 TEL : 843-4100 FAX : 843-4100	身・知・精・難
地域活動支援センター ののはな	枚方市長尾元町5-10-6 村田ビル1階 TEL : 845-6883 FAX : 845-6883	身・知・精・難

※ 囲み文字は主たる対応窓口

1. 枚方市防災ガイドを活用しましょう！

災害について正しい情報を得ていただくために、災害時に浸水、土砂災害の危険箇所、避難する場所や連絡方法等の情報を掲載した「枚方市防災マップ」を配布しています。ご活用ください。

2. おおさか防災ネットに登録を！

おおさか防災ネットは気象、地震、台風、河川の状況等、幅広い防災情報を携帯メールでリアルタイムにお知らせしています。

右の二次元コード、または touroku@osaka-bousai.net に空メールを送って登録を。



防災関係の担当課は枚方市危機管理対策推進課 TEL : 841-1270 FAX : 841-3092
 障害者支援関係の担当課は枚方市福祉事務所障害企画課 TEL : 841-1152 FAX : 841-5123
 難病患者支援関係の担当課は枚方市保健所保健予防課 TEL : 807-7625 FAX : 845-0685

令和6年（2024年）10月発行

発行者：枚方市 福祉事務所 障害企画課
 〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1番20号
 TEL : 072-841-1152 FAX : 072-841-5123